

## いしかわ里山塾(七尾班)

団体名●地域スポーツマネジメント研究室／代表者名●西村貴之(人間科学部准教授)

### はじめに

この取組みは、石川県里山振興室から本学地域連携センターへの委託事業「2019年度いしかわ里山塾」の一環として実施されたものである。七尾班では、人間科学部スポーツ学科地域スポーツマネジメント研究室に所属する3、4年生の学生が中心となり、活動の企画・運営を行った。主要連携団体は大呑グリーンツーリズム推進協議会(地元中核団体)、七尾市立東湊小学校(児童の参加)、石川県里山振興室(事業主体)であった。

### 活動内容

2019年度の取組みでは、東湊小学校6年生(前年度に学生による出前授業を受講)の児童も一緒に南大呑地区へ出かけ、里山を活用した体験活動に参加してもらった後に、ふるさと教育につながる出前授業を実施するという、一歩踏み込んだ内容にチャレンジした。

#### (1)大呑アスレチック

～里山の自然で遊ぼう～

日時：2019年10月5日(土)

場所：七尾市南大呑地区内の里山

参加：東湊小学校6年生25名、教諭3名  
本学学生16名、地元関係者6名

内容：南大呑地区内の里山の中にある自然の地形を利用したアスレチック広場を学生達が考案した。崖にロープを張った綱登り、通路壁面でのボルダリング、木の間に渡したスラックライン等、自然の中で子ども達が思いきり体を動かすことを楽しんでもらう機会を提供した。



大呑アスレチック①



大呑アスレチック②

#### (2)出前授業

～描こう!七尾未来デザインワークショップ～

日時：2019年10月9日(水)

場所：七尾市立東湊小学校

参加：東湊小学校6年生36名、教諭4名

本研究室所属スポーツ学科3、4年生5名

内容：大呑アスレチックに参加した児童と大学生が一緒になって、七尾のよいところ、課題、自分達が住み続けたいと思う未来の七尾について考え、イラストを描いて形にするワークショップを行った。



出前授業①



出前授業②

### 成果、結果の考察

大呑グリーンツーリズム推進協議会では、これまでも大学生のフィールドワークを受け入れている。筆者も2019年度の取組みで継続4年目の交流となった。2018年度までの取組みでは、学生が現地での滞在や体験を通じて見聞きしたことをまとめ、提案の形で地域へ還元してきたが、2019年度は子ども達の活動機会の提供という実践をともなったアウトプットができた。地元関係者、学校関係者からも喜びの声が聞かれ、学生達の動きもより主体的であったとの評価を得ることができた。活動の継続の中で、プロジェクトとしての設計改善が進んできていると感じる。

### 今後の課題、展望

2020年度以降もこの取組みを継続することで、地元小学生が地元の魅力を再発見する機会を提供し続け、大学生を含め、未来を担う人材を育むための種をまき続けたい。